

第1号議案 第11期 実績報告の件

第10期の大きな特徴は、加飾技術研究会員数が急速に増大したことです。研究会、役員会等を継続的に開催しましたが、業務の量が増大したことにより各対応が後手に回ってしまいました。そのため、今後は業務量の増大に対する処理体制を見直して、より一層各会員への支援に役立つ、充実した運営体制を再構築します。

下記に第11期の主な活動結果を以下に報告します。

(1)研究会(例会)

第27回～第30回の4回の研究会を成功裏に実施しました。

第1回特別研究会を開催しました。

各研究会後の情報交換会(懇親会)で、親睦を深め、情報交換を行いました。

(2)役員会

第19回～23回の5回の役員会を開催しました。

特に、業務処理を効率化し、運営を円滑にすべく組織を簡素化して、委員会制を整え、各々の役割を明確にしました。

(3)ホームページの構築

<http://kashoku.org> を構築しました。

(4)会員の拡大

会員拡大活動を継続し、新会員の開拓活動を実施し、その成果として、3月末時点で会員93社となりました。昨年比27社増です。

(5)加飾技術の調査・研究・開発に対する支援。

1) Archive 頁に、技術資料、講演会レポートを追加しました。

2) 例会で、会員の技術紹介、課題提供を行う場を設けました。

3) 会員から個別に技術相談、技術支援を受けて実施する事業については、適切なファシリテーション等が不十分にも拘わらず、技術相談は13件有りました。技術支援は具体的な実績は有りませんでした。

(6)展示会等への出展(詳細は添付資料)

コンバーティングテクノロジー総合展2019(2018年度)に会員企業様7社と共同出展しました。

(7)一般社団法人化等の検討

一般社団法人化を志向し、その調査と検討を行い、定款および細則等を一般社団法人として適合するように整備して、準備しました。当面は、現在の組織の体制強化に努め、一般社団法人化の時期は継続的に検討することとしました。

(8)情報発信

1) レター発行:

発行にかかる業務負担が多いため、発行することができませんでした。

2) 「加飾技術の基礎と最近の動向 2020年版」の発行:

現在編集途中で、来年早々の発行を目標に準備しています。

(9)事業連携支援業務、知的財産活用支援業務等に関する準備研究

研究会会員各位を支援すべく、準備を継続して行っています。

(10) 外部団体との交流充実

1) 加飾技術に関連する雑誌等:

会員各位のネットワーク等, 関係構築を継続しています.

2) 各種関連団体:

会員各位の参加各種団体などについて, 関係構築を継続しています.